寺嫁まめこのひとこと通信

お寺のことや仏教のことをもっと身近に！そんなことをまずは自分で感じてみよう～、と思いながら書いている寺嫁のつぶやき。
毎月ほぼ８日に発行

VOL.11（令和元年10月発行）

こんにちは！ いきなりですが…右の方は誰でしょう～？ヒントは赤い服。「…もしや、サンタクロース？」いやいや、違いますよー。こちらの方は、あの有名な！！！**だるまさん**です！！！

だるまさんっていうと、←左みたいなイメージだと思いますが、実は**達磨大師（だるまだいし）、というお坊さん**が元になっています。10月５日に亡くなられたと伝えられているため、**禅寺では10月に達磨忌（だるまき）を行います。**なので、今号はだるまさんです♪

～だるま伝説！！！そのごく一部をご紹介。～

伝説を語る前に、まずは基礎知識を…
✧ 南インドのある国の王子様として生まれる。
✧ 小さいころから仏教に親しみ、修行を経て、お釈迦さまから数えて２８代目を継ぐ。
✧ 禅の教えを初めてインドから中国に伝えた。禅宗の一番初めの和尚さま！

【伝説 その１】
100歳（！）を超えて中国に渡ったものの、達磨大師の禅の教えはなかなかすぐには受け入れられず…。そこで、少林寺というお寺で９年間坐禅をした。その姿を通して達磨さんの教えが人々の心に届き、広まっていくことになる。→→→坐禅をする姿がコロコロしただるまさんの原型になったそうです。

【伝説 その２】
少林寺で坐禅をしていた達磨さんのもとに一人の修行僧が弟子入りに来た。が、達磨さんは「お前の求めるものは、命がけの覚悟がないと手に入らない。」、と。すると、その修行僧はその場で自分の左ひじを切り落として差し出し、弟子入りを認められた。

【伝説 その３】
中国で亡くなり、葬られた達磨さん。しかし、その後皇帝の使者が履物の片っぽだけを持って歩く不思議な僧侶を見る。そこで達磨さんのお墓を開けてみると、そこには片っぽの履物だけが残っていた…。

こんな伝説を知ると、なんかだるまさんってうそっぽい…。と思ってしまうのは私が浅はかなのです。だって達磨さんが伝えたいのは、とにかく**実践！**ってことだから。**〝お釈迦さまが菩提樹の下で坐禅をして悟りをひらかれた。なら自分たちも同じことをして、本来の自分、というものをしっかり見つけて生きていかなければいけない。そこを体感することを目指すんだ。そこに回りくどい説明はいらない。〟**このことを生き方すべてで示してくださった達磨さまの想いを継ぐべく、自分も実践！なのです。がんばろう～

参考文献
1）『女性の仏教 歴史編／宗旨編』 教化研究委員会 妙心寺宗務本所 2006／2007年
2）『図解雑学 禅』 中尾良信 著 ナツメ社 2006年
3）『宗門安心章 第二自覚安心編』 臨済宗妙心寺派布教師会 臨済宗妙心寺派教化センター内 2012年

編集 横山 由馨